

NEWYEAR 2024 洋と和の弦楽CONCERT

～新春 ストリングスの祭典～

令和6年 1月21日(Sun)

開場 14:30 開演 15:00

名古屋文理大学文化フォーラム
(稲沢市民会館) 大ホール

Durare Chamber String Ensemble

デュラーレ チェンバー ストリング アンサンブル

【プログラム】●ヴィヴァルディ / 四季より「春」 ●グリーグ / 組曲「ホルベアの時代より」(全曲)

●キュフナー：序奏、主題と変奏 変ロ長調 ●ニューイヤークラシックメドレー (編曲：八谷誠人)



ゲスト
コンサートマスター
石田泰尚

ゲスト / 工藤雄司 (クラリネット)



小泉悠

田中光

寺田史人

松浦絵里奈

水野綾

向吉彩華

池村明子

叶澤尚子

加藤 泰徳

河井裕二

高柳安佐子

べべん～BEBEN～(津軽三味線ユニット)

【プログラム】 ●津軽じょんがら節 ●民謡メドレー ●共鳴 (オリジナル) ●蒼穹 (オリジナル)



大塚 晴也

柴田 愛

柴田 雅人

柴田 佑梨

白田 路明

杉山 大祐

田中 風真

永村 幸治

匹田 大智

チケット料金：一般 3,000 円 大学生以下 1,000 円
(全席指定・税込)

発売日：11月24日(金)10:00～

※未就学児入場不可 ※車椅子席はホールにてご購入下さい。

チケット取り扱い：

●名古屋文理大学文化フォーラム(稲沢市民会館) TEL:0587-24-5111

●チケットぴあ(Pコード：255-823) <https://t.pia.jp/>

●イープラス <https://eplus.jp/>

●芸文プレイガイド TEL:052-972-0430 ※平日 10時～19時 / 土日祝 10時～18時 ※月曜定休、月が祝日の場合は翌日

●名古屋市文化振興事業団 TEL:052-249-9387 ※平日 9時～17時 / チケット郵送可

ストリーミングプラス
にて有料配信(予定)!!
詳細はHP等でご案内します。

名古屋から
わずか10分!
「いなざわ」



主催：ジーコーポレーション 共催：一般財団法人稲沢市文化振興財団

【お問合せ】ジーコーポレーション ☎052-661-1514

名古屋文理大学文化フォーラム ☎0587-24-5111

NEWYEAR 2024 洋と和の弦楽CONCERT

～新春 スtringスの祭典～

DurareChamberStringEnsemble

デュラーレ チェンバー スtring アンサンブル

東海地区を中心にプロオーケストラで活動するプレイヤーが、気心の知れたメンバーでこだわり抜いた本気の音楽を表現したいという想いから2021年に結成。公演ごとに国内外で活躍する一流のコンサートマスターを招いて音楽を追求しています。これまでに配信2公演、コンサート5公演を開催。YouTubeチャンネルでは総再生回数17万回を超えます。



石田泰尚(ゲストコンサートマスター)

神奈川県出身。国立音楽大学を首席で卒業、同時に矢田部賞受賞。新星日本交響楽団コンサートマスターを経て、2001年神奈川県フィルハーモニー管弦楽団ソロ・コンサートマスターに就任。以来「神奈川フィルの顔」となり現在は首席ソロ・コンサートマスターとしてその重責を担っている。これまでに神奈川県文化賞未来賞、横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞。結成時から20年以上参加するYAMATO String Quartet、自身がプロデュースした男性奏者のみの弦楽アンサンブル「石田組」など様々なユニットでも独特の輝きを見せる。2018年には石田組がNHK-FM「ベストオブクラシック」およびBSプレミアム「クラシック倶楽部」で放送されその熱いステージの様子は大きな反響を呼び、2019年にはエテレ「らら」クラシックで特集が組まれた。2020年4月より京都市交響楽団特別客演コンサートマスターを兼任。最新アルバムは2021年12月リリースされた「PIAZZOLLA LIVE」。2022年6月に初の著書となる「音楽家である前に、人間であれ！」を刊行。使用楽器は1690年製 G.Tononi、1726年製 M.Goffriller。



工藤雄司(クラリネット)

名古屋芸術大学大学卒業、同大学研究生修了。2010年9月より渡仏。2011年6月にパリ・エコール・ノルマル音楽院の音楽演奏過程を修了。2011年7月、Académie Internationale de Courchevelに参加し、Romain Guyot氏の指導を受け、2011年8月に帰国。2009年、2012年、2023年月に「工藤雄司 クラリネットリサイタル」を、名古屋市長や多治見市長で開催し好評を博す。現在、フリーのクラリネット奏者としてソロや室内楽を中心に活動中。クラリネット協会・名古屋理事、Clarinet Ensemble Salut, Ensemble *Komorebi*, かるクラ・ウインド・オーケストラの各メンバー。第36回日本クラリネットフェスティバル in 名古屋の実行員を務める。2018年12月にレパートリーをまとめたCD、「Couleur claire」をリリース。これまでにクラリネットを小出紀仁、小松孝文、竹内雅一、品川政治、加藤明久、Guy Deplusの各氏に、室内楽をClaude Lelong氏に師事。YouTubeにて、クラリネットのエチュードの録音と趣味の動画を更新中！



小泉悠

埼玉県出身2008年東京音楽大学を卒業。新進演奏家育成プロジェクトオーケストラ・シリーズに出演、梅田俊明指揮名古屋フィルハーモニー交響楽団とコルンゴルトのヴァイオリン協奏曲を共演。2013年8月より名古屋フィルハーモニー交響楽団ヴァイオリン奏者。



水野繪

愛知県刈谷市出身。愛知県立芸術大学音楽学部を首席で卒業、桑原賞を受賞。2020年山田貞夫音楽賞特選を受賞し、セントラル愛知交響楽団と共演。兵庫芸術文化センター管弦楽団フォアシュビラーを経て、現在は愛知県で演奏活動をしている。



加藤泰徳

愛知県立芸術大学音楽学部卒業。昭和音楽大学研究科卒業。菅野博文氏のもとで研鑽を積む。昭和音楽大学講師を経て現在、名古屋フィルハーモニー交響楽団チェリスト。



田中光

千葉県出身。吉川朝子、玉井菜保、野口千代光の各氏に師事。東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、同大学を卒業。元兵庫芸術文化センター管弦楽団ファウシュビラー。2017年より名古屋フィルハーモニー交響楽団ヴァイオリン奏者。



向吉彩華

愛知県立芸術大学同大学院修了。学内選抜により室内楽のタペ、卒業演奏会、修了演奏会等に出演。桐朋学園オーケストラアカデミー研修課程修了。2021-22年兵庫芸術文化センター管弦楽団アソシエイトプレイヤー。セントラル愛知交響楽団ヴァイオリン奏者。



河井裕二

同朋高等学校音楽科を経て名古屋音楽大学を卒業。故久保田顕、林良一、吉田顕、林俊昭の各氏に師事。現在、中部フィルハーモニー交響楽団首席チェロ奏者。名古屋音楽大学非常勤講師。



寺田史人

カルロヴィ・ヴァリ交響楽団第一ヴァイオリン奏者、西チェコ交響楽団コンサートマスターを経て、現在セントラル愛知交響楽団コンサートマスター。名古屋芸術大学非常勤講師、金城学院大学非常勤講師、ヤマハミュージックリテイリング講師。



池村明子

兵庫県立西宮高等学校音楽科、京都市立芸術大学音楽学部卒業後、渡欧。ハンガリー国立リスト音楽院留学中にヴィオラに転向して2007年に帰国。同年、名古屋フィルハーモニー交響楽団に入団し現在に至る。



高柳安佐子

名古屋音楽大学院、愛知県立芸術大学器楽学科研究生修了。露・サンクトペテルブルグ音楽院、米・オペリン音楽院にて研鑽を積む。ボーリンググリーン大学音楽科にて教鞭をとる。サンクトペテルブルグ国際コントラバス音楽祭出演。セントラル愛知交響楽団契約団員。



松浦 絵里奈

名古屋市立菊里高等学校音楽科、愛知県立芸術大学音楽学部を経て、同大学大学院修了。在学中、卒業演奏会、修了演奏会に出演。ヴィオラスペス名古屋2017、読売中部新人演奏会等に出演。

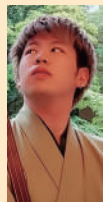


叶澤尚子

福島県いわき市出身。桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部卒業。第3回横浜国際音楽コンクール弦楽器部門第1位。カルテットゼーレ、KOTO弦楽四重奏団ヴィオラ奏者。現在、名古屋フィルハーモニー交響楽団首席ヴィオラ奏者を務める。

べべん〜BEBEN〜(津軽三味線ユニット)

日本各地でプロの演奏家として活躍するメンバーが一つとなったプロフェッショナル集団。MBS/TBS/BS-TBS「アニメイズム」枠にて放送された、TVアニメ「ましろのおと」に、メンバー全員が劇中演奏で参加。また、オンラインでのコンテストを開催するなど津軽三味線の魅力を発信している。幅広いスキルと豊かな経験を持ち、それぞれの個性が混ざり合い織りなす、べべんメンバーの音楽・世界観が好評を得ている。



大塚晴也

幼少の頃から祖母の元で三味線や琴に親しみ、小学2年の冬、津軽三味線に出会い愛知県津軽三味線教室、雅會・中野貴康師匠に師事し、現在に至る。県内外の演奏や文化祭、イベント等に参加しながら、別ジャンルとのコラボ等も積極的にを行い日本の伝統音楽の魅力を伝える事を若手ながらの手法で取り組んでいる。



柴田佑梨

11歳の時父の影響で民謡を習い始め、2002年15歳で津軽三味線を富塚孝氏に師事。力強い撥捌きとパワフルな音色で男性にも負けない演奏を披露する。



田中風真

5歳の頃、公民館で聴いた津軽三味線の音色に圧倒され、雅會・中野貴康氏に師事。これまでに数々の全国大会に出場し、11度の優勝を果たす。15歳で初のソロコンサート、800人を動員し聴衆を魅了。



柴田愛

7歳の時に民謡を歌い始め、2002年10歳で津軽三味線を富塚孝氏に師事。小柄な体から生み出される女性奏者ならではの繊細な音色と力強い演奏で人々を魅了している。



白田路明

9歳で本格的に三味線を始め現在プロの三味線奏者として北海道から全国そして、世界へと活動中の様々な文化にふれ、今まで人々が根付いてきた、昔古来から生まれた風土、情熱 人の生きる命の源を三味線で表現をし、ひとりでも多くの人に日本伝統三味線の魅力を伝えている。



永村幸治

9歳の頃、両親の影響で民謡三味線を北嶋晴武氏に師事、13歳で津軽三味線を一川明宏氏に師事。津軽三味線に洋楽器というバンド編成で独自のスタイルを確立し「よさ」を大切にしながらも 石川県金沢市在住だからこそ出来る音楽を表現し活動している。



柴田雅人

9歳の時父の影響で民謡を始め、2001年15歳で津軽三味線を富塚孝氏に師事。これまでに弘前、金木、東京、名古屋、大阪、神戸の全国大会最高部門で13回の優勝を果たし、津軽三味線奏者として史上最多の優勝回数を誇る。



杉山大祐

テレビの影響を受け10歳の頃より近藤のぶ代氏に師事し、津軽三味線、民謡を習い始める。「笑顔と感動のあふれるステージを！」という強い気持ちをもって活動中の津軽三味線奏者。



匹田大智

民謡三味線の師範である祖母と母の影響を受け、9歳より津軽三味線を始め、2006年に津軽三味線福居流・福居慶大氏に師事。その後、ロックを軸にエレクトロやヒップホップなどの要素を取り入れた音楽性や演奏スタイルを確立する。また、数多くのアーティスト等ジャンルを越えたコラボレーション、劇伴作品への参加など活動は多岐にわたる。